



住民のためにいい だから 私たちは

仕事をしたい たたかえる



私たちの運動の羅針盤は、 憲法そのもの

荒田委員長はあいさつで、平和憲法が戦後最大の危機の下、安倍政権の競争への道を歩もうとする憲法改正の動きを、また、この安倍政権と改憲をめぐって手を組もうとしている「日本維新の会」の都構想を許してはいけないと訴えました。そして、自治体の仕事とは、憲法にうたわれた国民の権利を

実現することで、私たちの運動の羅針盤は、憲法そのものであることと強調しました。新しい仲間を増やし「学びたたかい、たたかい学ぶ」とともに、「住民の中へ、住民とともに」をしつかり心にきざみ、大阪自治労連の団結を固めて奮闘していこうと呼びかけました。

「住民の幸せのために働く」 それが自治体労働者

2日間で48人の発言がありました。冒頭の「中核市移行が予定されている単組と保健所問題で学習会を開催。今後は住民と懇談会を開催したい」（府職労）との発言に続き、「3次救急（救命救急）は府の責任を求めていく」（貝塚）、「中

河内救命救急センターを考える会」を再開、救急・地域医療の現状を住民に知らせたい」（東大阪）など、住民の生命・健康を守る発言が相次ぎました。

また、「競争入札で閉鎖に追い込まれる地元業者も。『公契約』は公務が率先すべき」（吹田水労）、「大阪市の水道事業民営化計画の危険性を市民に広める」（公企評）と、公務労働の重要性を訴える発言が。さらに「マイナンバー制度の問題点を学習して、正しい情報を住民に伝える」（吹田）との発言がありました。

問題が山積の「こども園」 行政のトップダウンは許さない

大阪府内で続々と進められている「こども園」計画については「施設の大規模化、通園範囲の広域化、施設整備や保育内容など問題は山積だ。『認定こども園交流会』を立ち上げる」（東大阪）、「園の規模拡大や労働強化で臨時職員不足。募集しても応募なし」（泉大津）、「5つのこども園再編に反対する市民運動に、



「住民のためにいい仕事」 だから人員要求に全力

「学校給食委託化の申し入れに『子どもたちのことを第一に考えるべき』と訴え、自校直営を守った」（貝塚）、「専門職採用に否定的な市長だが、交渉で訴え、10年ぶりに採用を勝ちとる」（高石）、「長時間労働が常態化、交渉で改善策を迫り、定数通りの人員配置・臨時職員増を勝ちとる」（門真）、「労安委員会を活用して人員増（かがやく労組）などの成果が報告されました。



非正規職員の 雇止め撤回を必ず

雇止め撤回をたたかう単組からの、「地裁判決は当局主張そのままの不当判決。地公法改正がされるべき」（守口）、「10月に地裁判決をむかえる。全国の非常勤職員の処遇改善につなげたいので、ご支援を」（吹田関連）との発言に続き、関連評からも発言がされました。

組織拡大と次世代育成で 大阪自治労連の未来をひらく

「役員育成で気軽に参加できる月1回の学習講座を開催、今後も継続したい」（堺）、「新入職員への説明会に青年役員が参加、組合の意義を訴えて全員加入」（門真）、「仕事での相談でつながりをつくり、純増に」（豊中）、「日刊ニュースが9000号に。組合の運動を『見せる』機関紙を軸にした組織強化を」（富田林）などの報告が続々とされました。さらに「組合の魅力が語ってくれる先輩がいて組合に加入、採用2年目で青年部長に。憲法学習や青年の働きやすい職場づくり・賃金向上にとりくみたい」（府職労）との決意表明がありました。

民主的自治体建設で 働きがいある職場づくりを

来年市長選挙が予定される単組からは、「現市政は保育所・幼稚園民営化や大型建設事業など独裁市政。来年の市長

選で住民本位の自治体建設を」（松原）「3年前維新候補を破り現市政が誕生。市長選に備え市職労としての市政分析をして『市政白書』作成の準備をしている」（岸和田）などの決意表明が。今年市長選をたたかった羽曳野、茨木、大東からは支援への感謝が報告されました。

戦争法廃止―住民との共同ひろげ 憲法を守るたたかいを

「地域団体と吹田駅前広場で集会やパレードを行い、2000万署名にもとりくんだ」（吹田）、「秘密保護法反対で培った共同の力を『戦争させない！』高槻・島本実行委員会として、署名・街頭宣伝・講演会などにとりくんだ」（高槻）と、憲法を守る共同の広がりが報告がされました。府職労からは「平和と民主主義を壊すか守るか、住民とともに歩む自治体労働者の誇りを奪われるか守るかが問われている。憲法闘争をたたかいの中心にすえ全力で奮闘する」と、力強い発言がありました。

権利侵害の維新(型)政治に 毅然とたたかう

大阪市労組からは「組合事務所裁判は高裁で不当判決。最高裁に上告受理を求めている。大阪市解体をねらう住民投票の策動を止めるため全力でがんばる」、「組合事務所使用の不当な目的制限、機関紙活動への干渉には臆せず活動し、不利益処分には毅然と対応する」（枚方）、「職員採用で厳しい状況でも、引き続き職場から人員要求して交渉を開かせる」（守口）と、たたかう決意表明が。さらに「住民から『公務員攻撃の次は市民生活攻撃が、私たちが立ち上がらねば』との声が」（吹田）と、住民との共同の広がりが報告されました。そして富田林から「維新の教育破壊でも共闘を広

市職労は保護者が声を上げる環境づくりなど側面的支援を行った」（八尾）など報告されました。堺学保労や熊取学童からは学童保育充実に向けた発言がありました。

出席いただいた来賓の皆様(順不同)

日本自治体労働組合総連合書記長 中川悟さん／全大阪労働組合総連合議長 川辺和宏さん／大阪自治労連弁護団・団長 豊川義明さん／大阪自治体問題研究所副理事長 藤永のぶさん／日本共産党参議院議員 辰己コータローさん／近畿労働金庫常務理事大阪地区統括本部長 石村龍治さん／近畿労働金庫梅田支店支店長 岸本毅さん／道修商事株式会社代表取締役 松浦章さん／道修商事株式会社 赤崎辰也さん／大阪うたごえ協議会議長 岡邑洋介さん／(株)関西共同印刷所 木久さん／日本自治体労働組合総連合執行委員長 猿橋均さん／大阪自治体労働組合総連合顧問 一法真澄さん、徳畑勇さん、大原真さん

大会に寄せられた
メッセージ・祝電
(順不同・敬称略)

日本自治体労働組合総連合共済会／北海道自治労連／自治労連秋田県本部／青森自治労連／自治労連福島県本部／自治労連千葉県本部／自治労連埼玉県本部／長野県自治労連／静岡自治労連／自治労連愛知県本部／滋賀自治労連／京都自治労連／奈良自治労連／和歌山自治労連／兵庫自治労連／自治労連岡山県本部／自治労連鳥取県本部／広島自治労連／山口自治労連／徳島自治労連／高知自治労連／自治労連愛媛県本部／長崎自治労連／自治労連近畿地方ブロック協議会／大阪労連・豊能地区協議会・北摂地区協議会・北河内地区協議会・阪南地区協議会・堺労連／国公労組大阪地区連合会／国労大阪地本・建交労大阪府本部／自交総連大阪地連／化学一般関西地本／全印総連大阪地連／全国一般労組大阪府本部／大阪労連／JMITU大阪地方本部／生協労連大阪府連／福祉保育労大阪地本／年金者組合大阪府本部／金融労連近畿地方協議会／全港湾船支本部／全港湾築港支本部／大阪労連共済会／民主法律協会／日本国民救援会大阪府本部／明るい民主大阪府政をつくる会／大阪市をよくなる会／日本共産党大阪府会議員団／日本中国友好協会大阪府連合会／日本コリア協会大阪／大阪平和委員会／原水爆禁止大阪府協議会／関西労働者教育協会／大阪府保険医協会／大阪府歯科医師協会／関西中小

工業協議会／大阪から公務をなくす会／進歩と革新をめざす大阪の会／大阪民主医療機関連合会／大阪母親大会連絡会／民主主義と人権を守る府民連合／大阪商工団体連合会／全大阪生活と健康を守る会連合会／大阪学童保育連絡協議会／非核の政府を求め大阪の会／安保破壊・諸要求貫徹大阪実行委員会／原発ゼロの会大阪／日本科学者会議大阪支部／治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟大阪府本部／徳関西共同印刷所／株式会社きょうMOVE／日本機関紙協会大阪府本部／大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会／大阪憲法会議／新日本婦人の会大阪府本部／自由法曹団大阪支部／大阪府市町村職員共済組合／大阪府市町村職員年金者連盟／堺市長 竹山修身／吹田市長 後藤圭二／高槻市長 濱田剛史／茨木市長 福岡洋一／藤井寺市長 國下和男／羽曳野市長 北川嗣雄／富田林市長 多田利喜／大阪狭山市市長 古川照人／高石市長 阪口伸六／岸和田市長 信貴芳則／泉大津市長 伊藤晴彦／和泉市長 辻 宏康／貝塚市長 藤原龍男／泉佐野市長 千代松大樹／豊屋川市長 北川法夫／枚方市長 伏見 隆／能勢町長 山口 禎／岬町長 田代 典／河内長野市長 島田智明／河内町長 武田勝玄／大阪府市長会会長 田中誠太／大阪府町村会会長 松本昌親／大阪府市民局ダイバーシティ推進室長